

## あ と が き に か え て

新宿区には、区の将来を自らの未来と重ねて共に歩んでいこうとする心強い仲間が大勢いる。今回、その仲間の中から、現状への憂い、地域の将来への想い、よりよい将来のための多くの知識やアイデアを胸に抱き集まったメンバーが区民会議を構成し、私利私欲なく、ただひとえに地域のため、仲間のため、次世代のために、膨大で真剣な議論を重ねた成果の「一段落」がこの提言書である。

この提言書は、「始まりの書」であって、これで区民会議の議論が終わりとなるものではない。この提言書が種となって、真に区民の協働参画による新しい新宿区政が産声をあげるのだ。まさに、地方分権時代にふさわしい市民自治がこの提言書により始まっていく。

また、この提言書は「確認の書」でもある。この提言書が元となって今後の区の活動方針が定められる。区民会議に参画した我々は、提言者として引き続き区政の行く末を見守り、必要に応じて協働活動を継続していく決意を固める必要がある。一方、区は、区民に区政を信託されている立場をわきまえ、誠実に区民の要請に応えていく義務と責任がある。果たして今後の区政が、区民の希望を叶えて進んでいっているのか、その確認の役割を担うのが、この提言書でもある。

提言が終わると、いよいよこれから新しい協働の社会がスタートする。区民同士、あるいは区と区民が、それぞれの役割を担いながら、目標を一つにして、誇り高く、夢多き我らの新宿を創造する時代が始まろうとしている。

さあ、みなさん、引き続き皆で地域の夢を語り合ってください。

そして互いに約束しましょう。我らの新宿、我らのまちを、我ら自らの手で造り、育てていくことを。

新宿区民会議 世話人会 副会長 山下 馨